



第2回統合準備委員会を開催しました

令和5年6月20日（火）に第2回『秋保小学校・馬場小学校 統合準備委員会』を秋保市民センターで開催しました。当日は、新委員が加わり、小学校間の交流、秋保小新校舎、学校跡施設の利活用等について教育委員会から説明を行い、委員の皆様と質疑や意見交換を行いました。



新委員について

今後の統合準備委員会では、統合する秋保小・馬場小の2校だけではなく、秋保中も含めた一体的な教育環境の検討が必要となるため、第2回目から秋保中の関係者5名の委員が新たに加わりました。

【新委員】

秋保中学校校長、教頭、PTA会長、副会長の皆様



小学校間の交流について

【交流学習】

仙台市では、小規模校の児童生徒がより多くの仲間とかかわり、学び合う機会を設けることを目的として交流学習を行っています。

【秋保地域3校(秋保小・馬場小・湯元小)交流学習】

秋保小、馬場小、湯元小の3校では、合同での修学旅行をはじめ、以下のとおり様々な交流学習を行っています。これらの取組みは、今後も継続して実施していきます。

- 楽天球団弟子入り体験
- 修学旅行
- 陸上記録会合同練習会
- 葛岡清掃工場見学
- 八木山動物公園遠足
- かまぼこ工場・東北歴史博物館見学
- トヨタ自動車工場見学

【統合に向けた2校間(秋保小・馬場小)事前交流学習】

令和9年度の統合を見据え、統合後すぐに児童生徒が活気あふれる楽しい学校生活を送ることができるよう、2校間での事前交流学習も始めています。今年度予定されている事前交流学習は以下のとおりです。

- スキー教室(4～6年生)
- スケート教室(2・3年生)
- 秋保かるた交流会(1～4年生)



秋保小新校舎について

1 秋保小校舎の移転新築について

現在の秋保小校舎は教室棟の部分が昭和40年～50年前半にかけて建築された建物であるため、仙台市では築年数を考慮し、令和10年頃を目途に校舎の建て替えを検討していました。

そうした中、統合を協議する過程で「現地で建て替えをするのではなく秋保中の敷地に秋保小校舎を移転新築して、現在行っている幼・小・中連携の取組みをより充実させられる環境を整えてはどうか」というご意見をいただきました。これを受けて仙台市で検討した結果、移転新築の実現は可能であり、教育環境としてもより望ましいと考えられるため、改めて秋保・馬場地区の皆様にご説明し、ご理解いただけたことから、秋保小校舎を移転新築することとしたものです。

2 新校舎に込める思い

「明るく開放的で、子ども、地域の皆さんも和み、誰にとっても居心地がよい空間」をテーマに、次に掲げる学校像の実現を目指して新校舎の移転新築を進めていきます。

- ① 子ども一人一人が学び合いを通じ輝くことができる学校
- ② 秋保を愛する気持ちが育つ学校
- ③ 保護者や地域の皆さんが自由に子どもの成長を見守ることのできる学校

3 新校舎の規模・教室数等について

(1) 新校舎建築の基本要件

- ① 秋保中プールの位置に秋保小新校舎を建設
- ② 屋上に小・中学校共用のプールを配置
- ③ 1階に児童館を設置
- ④ 校庭・体育館・武道館・給食室を小中で共用
- ⑤ 秋保中の駐車場にスクールバス発着場を整備

秋保小新校舎 建設予定地



(写真：仙台市撮影)

(2) 新校舎の規模・教室数等

新校舎の大きさや教室数は、国の補助整備基準により校舎完成時の児童数（予測）に基づいて決めることとされています。

① 令和9年度の秋保小・馬場小統合後の児童数推計（令和4年度時点）

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
児童数	3	9	9	6	9	8	44

② 学級数（普通学級）

両校が統合し、新校舎の使用を開始する令和9年度の児童数推計を学級編成に関する国の基準にあてはめると、3・4学年が複式学級で1学級、全学年合計5学級となりますが、仙台市では各学年1学級、合計6学級を維持し、子どもたちが安心して生活、学習できる環境を整備する予定です。

③ 特別教室数

国の基準では普通学級が5学級となるため、整備できる特別教室数は4室となります。

通常であれば、使用頻度が高いこと等を考慮して理科・図工室、図書室、家庭科室、音楽室の4室を整備するところですが、秋保中と同一敷地内にあるという恵まれた環境を活かし、秋保中の被服室、調理室、音楽室を共用し、秋保小新校舎には理科・図工室と図書室の2室のみを整備する予定です。

こうして生み出される空間を活用して、多目的ホールや開放的なスペースを整備し、魅力的な校舎を目指します。

【秋保小学校整備予定の特別教室】

教室名	理科	図工	図書	音楽	家庭	合計
秋保小		○	○			2
標準		○	○	○	○	4

特別教室を「理科・図工室(併用)」「図書室」とし、家庭科室、音楽室を秋保中学校と共用

【小学校独自で設置が必要な教室】

ア) 理科室、図工室

低学年から利用し、机や使用器具等も小・中で違いがあるため

イ) 図書室は発達段階に応じた蔵書や教室の用途から、小学校独自で設置が必要



共用で生み出される空間を多目的ホールや開放的なスペースとして整備

④ 多目的ホール・開放的なスペースの活用例（小中共用）

- ・ 体育（マット運動、ダンス等の軽運動）
- ・ 音楽（歌唱、演奏、音楽鑑賞・発表会）
- ・ 生活科・総合的な学習の時間（グループワーク、発表会、講演会）
- ・ 集会活動・クラブ活動
- ・ 放課後子ども教室の運営等
- ・ 地域の活動・地域行事等

【新校舎に関する主な質疑応答】

問1 今後児童数が増えることもあり得るが、新校舎では児童何人まで対応できるか。

答1 200人前後まで対応できます。（最大：1学級当たり35人×6学級）

問2 新校舎の屋上に設置するプールは、温水プールにして地域に開放してほしい。

答2 児童・生徒の衛生環境や学校運営上の問題から、温水プールの設置や地域への開放は難しいことをご理解くださいますようお願いいたします。



学校跡施設の利活用について

統合後は現在の秋保小と馬場小は学校として使用しなくなるため、跡施設の有効活用を検討する必要があります。

今後は地域の皆様のご意見を踏まえながら、①仙台市の各種事業で使用、②仙台市以外の団体による公共・公益事業での使用、③その他事業での賃貸による使用、の順に検討していきます。

また、現在行っている地域行事や学校施設開放などの地域利用、指定避難所機能は基本的に継続します。

年月日	協議予定等
R5年 6月	利活用検討の概要を説明(今回)
12月	方向性について全体協議(予定)
	・秋保小学区、馬場小学区に分かれての検討を開始(分科会)
	・地域要望を踏まえ、市としての利活用の検討を開始
	※必要に応じ、分科会を開催
	※必要に応じ、統合準備委員会で状況報告
R8年 9月	統合準備委員会で状況報告(予定)

【学校跡施設の利活用に関する主な質疑応答】

問 統合後の秋保小、馬場小の施設開放はどのように管理運営するのか。

答 地域の方々に施設開放管理運営委員会を引き継いでいただき、施設開放を継続していくこととなります。



その他の主なご意見・ご質問

問1 秋保中との小・中連携を充実させていくとなれば、湯元小も含めた三校で統合するというとも考える必要があるのではないか。

答1 教育委員会としては、三校が統合することで秋保地域の小・中学校のより良い教育環境の実現につながると考えています。一方で、湯元地区の皆様のお考えもありますので、今後もそのお考えを尊重しながら、秋保小・馬場小の統合に関する検討状況等について情報提供を行うとともに、教育委員会の考えをお伝えしていく予定です。

問2 スクールバスでの送迎の対象はどのようになっているか。

答2 現在の馬場小学校区の子どもたちはスクールバスで送迎する予定です。秋保小学校区でも学校が移転することによって通学距離が長くなる地域の子どもたちについて、対応を検討していく予定です。

今後の予定について

- (1) 日時 令和5年12月頃
 - (2) 会場 秋保市民センター ホール(予定)
 - (3) 内容 秋保小学校新校舎について(その②)ほか
- ※ 日程等の詳細は改めてお知らせします。

仙台市教育局 学校規模適正化推進室

住所：仙台市青葉区上杉一丁目5-12 仙台市役所上杉分庁舎11階

TEL：022 (214) 8432 FAX：022 (264) 4428 Mail：kyo019031@city.sendai.jp